

令和8年度第4回臨床腫瘍セミナー

遺伝性腫瘍症候群診療をとりまく現状と課題

一多遺伝子パネル検査 (multigene panel testing: MGPT) から
着床前遺伝学的検査 (PGT-M) まで一

近年のがんゲノム医療の普及により、遺伝性腫瘍症候群家系が診断される機会が増え、その診療は「がんの治療」から「病的バリエーションを保持する本人のみならず血縁者のがん予防」へと広がっています。令和8年度診療報酬改定では、遺伝性乳癌卵巣癌症候群 (HBOC) のがん未発症も含む血縁者に対する遺伝学的検査も保険適用となりました。本講演では、多遺伝子パネル検査 (multigene panel testing: MGPT) パネルを含む遺伝性腫瘍症候群診療の現状および、次世代への対応としての着床前遺伝学的検査 (PGT-M) の課題についても概説します。

岡山大学学術研究院 医歯薬学域
臨床遺伝子医療学分野 教授

講師

平沢 晃 先生

(ひらさわ あきら)

昭和 45 (1970)年 東京生まれ
平成 7 (1995)年 慶應義塾大学医学部卒業、産婦人科研修医
平成 12 (2000)年 東京医科歯科大学難治疾患研究所遺伝疾患研究部門 (分子細胞遺伝) で
婦人科がんゲノム異常の研究に従事。
平成 16 (2004)年 博士 (医学) 取得
平成 17 (2005)年 慶應義塾大学医学部産婦人科 助教 (助手)
平成 23 (2011)年 フィンランド分子医学研究所に留学。フィンランドアカデミー上級研究員
平成 27 (2015)年 慶應義塾大学医学部産婦人科専任講師
平成 30 (2018)年 6月 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科病態制御科学専攻 腫瘍制御学講座
(臨床遺伝子医療学分野)教授 (現 岡山大学学術研究院医歯薬学域 臨床遺伝子医療学分野)

日時：令和8年11月10日(火)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館第2臨床講義室

司会：門馬智之先生 (消化管外科学講座/遺伝診療部)

対面/WEB ハイブリッド開催

WEB参加を希望される方は、下記アドレスまたは右の二次元コードからご登録ください。

https://zoom.us/meeting/register/X_vx5O7GTA6rz_VP8uiR-A



- ◆がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ、患者様及び一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
 - ◆本セミナーは、『東北広域次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
 - ◆本セミナーは、大学院授業要項に基づく「共通必修科目(8)」に該当します。大学院生は履修票をご持参下さい。
- 【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL: 024-547-1095 E-mail: ganpro@fmu.ac.jp
【次回予定】 令和8年11月24日(火) 18時15分～19時15分 福島県立医科大学11号館第2臨床講義室
(講師) 福島県立医科大学 循環器内科学講座 教授 石田隆史先生